



Sapporo
Medical University
Hospital

2021年度

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院 臨床研修医募集案内



地域と連携し、医療・保健・福祉をサポート。



札幌医科大学附属病院長（病院管理学）

土橋 和文

「さらなる飛翔をともに」

札幌医科大学附属病院は“道都”札幌中心にある公立医系総合大学の附属施設です。自由闊達な変革と門戸の開放の精神は開学以来の伝統です。

医療は立ち止まっていません。生涯学習：「25歳まで臨床を鍛え、40歳まで研究を行い、60歳まで現役（ウィリアム・オスラー）」は必然です。初期および後期研修は、医療者の生涯教育の中で“事の外”重要な期間です。

多くの実践経験と技術を踏む必要があります。同時に未決事案への突破力を培う必要があります。医療者としての思考と問題解決・意思疎通の能力等のノンテクニカル・スキル、“立ち振る舞い”の基本姿勢の形成、ロール・モデルとの出会いが、殊に重要となります。

附属病院・教育関連施設など皆さんに関わる教育力は、間違いなく全国屈指です。また、多彩な協力型病院との連携と自由度の高いプログラム設定、プライマリーケアの重視と地域およびチーム医療参画、他にない高度救命救急施設、先進的な橋渡し研究の実施など、初期～後期研修および専門医・大学院博士課程、国内外の留学、生涯教育をシームレスに利用できるのが特色です。得られる先輩・同僚・後輩等の医療人のネットワークは、唯一無二のものとなります。

2019年から新たな元号となり、当院では今後数年で旧病棟の再編がなされます。新四半世紀への挑戦に共に生きる未来医療の扉を開きましょう！



臨床研修・医師キャリア支援センター長

辻 喜久

「はじめまして！」

2020年5月1日より、センター長に着任しました辻と言います。Covid-19による大きな社会変革の真っただ中にこの要職についたことの責任の重さを痛感しています。

Post-Covidともいうべきパラダイムシフトが生じ、私たちも変わらなければ次の時代を乗り越えることができないと思います。一方で、どのような時代の流れの中でも変わらない大切なことがあります。

The best interest of the patient is the only interest to be considered

「患者さんの利益こそが、我々の唯一の関心事である」とでも訳しましょうか、、、米国の病院ランキング1位に掲げられている、有名な言葉です。しっかりと患者さんに貢献し、皆さんにとっても、皆さんの家族にとってもHappyとなるような、そうした研修環境を目指したいと思います。

具体的な研修の特色として、札幌医科大学のプログラムの3つのポイントをぜひご確認いただきたいのですが、それ以外にも以下のようなことも予定しています。

- 海外有名医師を招聘し、世界レベルのワークショップやレクチャー
- 学内新進気鋭の医師による、エコーなどの医療スキル向上のためのハンズオンセミナー
- USMLE受験準備としての英語医療セミナー
- 北海道の地域性を最大限活かした地域医療研修などなどです。札幌医科大学は新たな取り組みを進めている最中ですから、もしかするともっと魅力的な何か準備できているかもしれません。もしよければ一度、説明会などにご参加ください。

皆さんとお話できる日を楽しみにしています。

札幌医科大学附属病院プログラムの 3つのポイント

Point 1 専門医取得へのシームレスな研修

大学病院で研修を行うことで、医師3年目からの専門医プログラム研修を円滑に開始することができます。初期研修2年次から大学院への進学も可能です。何度でも変更可能なローテーション、最長 48 週間の自由選択を活かし、将来のキャリア形成のための自由度が高いプログラムで研修ができます。

Point 2 プライマリ・ケアから高度医療・先進的医療まで研修できるプログラム

道内 46 施設と協力し、たすきがけ研修を実施しています。市中病院では Common Disease を中心に、大学病院では多くの指導医のもと、専門性の高い疾患に加えて Common Disease が複雑に合併する症例に対してより高度な診療を経験できます。また、北海道で唯一の高度救命救急センターでは、救急専門医の指導により、研修医の希望に応じて、初期診療から3次救急まで幅広く学ぶことができます。さらに、再生医療をはじめとした先進的医療も研修できます。

Point 3 充実した研修環境・学習環境

各診療科の専門医により、症候からのプライマリ・ケアに関するセミナーを定期的で開催しています。研修医室には個人の専用スペースや Wifi 環境、研修医専用の複数台の電子カルテを整備、学内には 24 時間利用できるスキルスラボや図書館の他、電子ブック、電子ジャーナルなどのコンテンツを整え、充実した学習環境により自身のスキルアップを図ることができます。

C O N T E N T S

- 3 札幌医科大学附属病院概要／研修環境
- 4 研修診療科・部門 案内
- 5 2021 年度 臨床研修プログラム
- 6 臨床研修モデルケース
- 7 協力型研修病院一覧
- 8 研修協力施設一覧
- 9 福利・厚生／初期臨床研修医の処遇
- 10 研修医からのメッセージ
- 11 専門研修・後期研修について
- 13 臨床研修に関する Q&A
- 14 2021 年度 臨床研修医募集要項



sity Hospital

札幌医科大学附属病院概要／研修環境

病院概要

名称 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院
 所在地 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291番地
 診療科数 【33診療科・部】
 消化器内科、免疫・リウマチ内科、循環器・腎臓・代謝内分泌内科、呼吸器・アレルギー内科、腫瘍内科、血液内科、脳神経内科、消化器・総合、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、神経再生医療科、婦人科、産科周産期科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、神経精神科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、総合診療科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、遺伝子診療科、検査部、病理部、高度救命救急センター、集中治療部

病床数 932床
 ・一般病床 890床
 ・精神病床 42床

入院 入院延患者数 257,198人
 新規入院患者数 19,255人
 1日平均患者数 702.7人
 外来 外来延患者数 412,683人
 1日平均患者数 1,719.5人
 手術 手術件数 7,975件
 1日平均手術件数 33.2件

(2019年)

ハイブリッド手術室

高精度の血管撮影装置を備えることで通常の手術と血管内治療を組み合わせた最先端の手術を行うことができます。

当院では心臓血管外科と脳神経外科領域で導入され、多くの治療が行われています。



da Vinci Xi サージカルシステム

2013年に「da Vinci」を導入して以来、2019年に2台目が導入されました。

さらに全国に先駆けてロボット専用手術室が運用され、消化器外科、泌尿器科、婦人科、呼吸器外科で多くのロボット支援手術を行っています。

先進治療に触れる良い機会です。



高度救命救急研修

北海道唯一の「高度救命救急センター」で3次救急研修。協力施設の「札幌徳洲会病院」「市立函館病院」「手稲溪仁会病院」「勤医協中央病院」で1・2次救急研修もできます。



研修医セミナー

毎週1回、研修医のプライマリケアにおける基本的臨床能力の向上を図るために、各診療科の指導医がセミナーの講師を務めます。臨床研修で経験が求められる症候、疾病、病態への初期対応等をテーマに、豊富なシミュレータによるハンズオンなどもあります。毎年、「すぐに診療に役立った」と好評です。



合同カンファレンス

腫瘍診療センター、心臓血管センター、消化器センターなどがあり、診療科の垣根を超えたチーム診療を行っています。



研修診療科・部門 案内

消化器内科

消化管・肝臓・胆膵領域のすべての良性疾患・悪性疾患を含む豊富な症例と、専門医による丁寧な指導を通じて、全身を総合的に診療できる内科医を育成します。

免疫・リウマチ内科

膠原病・リウマチ性疾患の診断・治療を通して全身を幅広く学べます。特に、新しい疾患概念であるIgG4 関連疾患の診療に力を入れており、症例数は北海道内随一です。

循環器・腎臓・代謝内分泌内科

「循環器」「腎臓病」「生活習慣病」という密接に関連する疾患群を体系的に研修することにより有機的に幅広い内科疾患を経験でき、内科専門医取得にも有利です。

呼吸器・アレルギー内科

呼吸器領域を中心として、がん、感染症、アレルギー疾患に関する専門的知識・技術を身につけられます。北海道は呼吸器内科医が不足しています。是非、一緒に仕事しましょう。

腫瘍内科

消化器腫瘍（消化管・肝胆膵）骨軟部・原発不明腫瘍など広い分野の研修が可能です。化学療法、免疫療法、内視鏡治療やIVRを経験し、癌診療の専門医を目指しましょう。

血液内科

貧血・凝固異常症への対応、血液悪性疾患に対する分子標的治療から、造血幹細胞移植まで幅広い専門的知識を学べます。血液専門医・移植専門医を目指しましょう。

脳神経内科

神経所見と病歴から診断する「ワザ」を見せます。多彩な神経疾患に対処する「コツ」は実際に経験をしないとわかりません。豊富な症例と丁寧な指導があなたを待っています！

総合診療科

他院の初期研修ではまずできない外来研修をしてみませんか。患者さんの話から危険性を判断し、診断・治療戦略を組み立てます。内科的知識を症候から整理したい方もどうぞ。

高度救命救急センター

重症救急患者の初期治療やICU管理を学ぶことができます。医師として必要な救急蘇生や入院患者の全身管理に強くなります。ドクターカーへの同乗も経験できます。

集中治療部

専従医が24時間体制で管理するclosed ICUで重症患者の診かたを学び、循環・呼吸管理、急性血液浄化療法、栄養療法、急変時対応など、急性期・周術期の全身管理を基礎からマスターできます。

神経精神科

精神科医療を幅広く学ぶことができます。精神科リエゾンやサイコオンコロジーにも力を入れています。研修医に診療を委ね手厚く指導します。

産婦人科

産婦人科診療を通じて、加齢に伴う健康課題の移り変わりや女性の診療に対する配慮を身につけましょう。妊婦への対処も学べますし、手術も多く外科的手技も向上します。

小児科

小児科研修を行うことで、一般の小児診療に必要な子どもの診察、手技、検査、治療、そして子どもや家族への接し方、さらに各専門分野についても学ぶことが可能です。

麻酔科

手術の麻酔管理を通じて、循環、呼吸、疼痛、全身の管理に携わります。麻酔専門医からさらに、救急、集中治療、ペインクリニック、緩和へと我々の知識と技能は広がっていきます。

消化器・総合、乳腺・内分泌外科

ダイナミックかつ繊細な手術手技やチーム医療、高い専門性だけでなく日々の診療に役立つ総合力を養います。消化器外科と乳腺甲状腺外科のスペシャリストを目指しましょう！

心臓血管外科

集中力、判断力、冷静さを要求されるやりがいのある診療科です。弁膜症、冠動脈疾患、胸部大動脈瘤などを低侵襲のカテーテル治療から開胸手術まで数多く研修できます。

呼吸器外科

肺、縦隔腫瘍、胸壁疾患等に対し最先端、低侵襲な完全胸腔鏡下肺区域切除から胸膜肺全摘のような拡大切除術まで非常に豊富な症例を経験できます。

整形外科

1) 実力のある整形外科臨床医の輩出、
2) 世界レベルの研究成果の発信、
3) 明るく活気のある教室づくり、
が当教室の3大モットーです。スポーツ医療にも力を入れています！

脳神経外科

全身合併症や救急対応の経験から迅速正確な判断と行動できる能力を若手のうちに習得していきます。また、脳神経外科疾患を通して脳機能について学びます。

眼科

外来・病棟・手術のあらゆる臨床現場を経験できます。眼科臨床の基礎を学んで一級の眼科臨床医を目指しましょう。

皮膚科

全国平均よりも多くのベッド数を有しており、多数の症例を経験できます。腫瘍チームとアレルギーチームに分かれて診療を行っており、専門医、指導医による指導環境も充実しています。

形成外科

小耳症などの先天性疾患の治療件数は国内有数で、軟膏や被覆材などを用いた形成外科的処置法を学べます。熱傷、顔面外傷の治療から、高度な縫合技術の習得が可能です。

泌尿器科

診断から治療まで。腫瘍、排尿機能、内分泌、性機能、腎移植、感染症と幅広い診療領域。経尿道的、腹腔鏡、ロボット支援、開腹と多彩な手術。泌尿器科は多くの可能性がある科です。

耳鼻咽喉科

プライマリケアはもちろん、人工内耳手術、頭蓋底を含めた鼻副鼻腔手術、再建を要する頭頸部癌手術など、命と機能を守る耳鼻咽喉科医として専門性の高い臨床力を磨けます！

放射線治療科

高精度放射線治療・IVR治療を学ぶことで、脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんなど、全身のあらゆる領域のがん治療に精通する実力がつきます。

放射線診断科

MRI、CT、PET、核医学で全身の画像診断をします。研修医は、診断医の指導のもと、自分で読影し、レポート作成ができます。

リハビリテーション科

新生児から超高齢者まで、あらゆる疾病を対象として、人間の環境を総合的に捉えて、障害の予防と治療を専門的に診療できるリハビリテーション科医を育成します。

病理部

北海道各地から収集された病理診断症例は多彩・豊富で、当科の専門である骨軟部腫瘍症例も充実しています。診断経験豊富な指導医のもと、実践的な病理診断医を育成します。

検査部

細菌検査や血液など専門領域を含む検査の実践と生理機能検査技術の習得、さらに、感染症診断と感染制御に関する知識を身につけることができます。

神経再生医療科

神経再生医療科は、「自己骨髄間葉系幹細胞」を用いた再生医療の基礎研究から臨床応用・実用化への展開までもが守備範囲です。一緒に、新しい分野を開拓しませんか！

2021年度 臨床研修プログラム

○ 標準プログラム

1年次・2年次																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
内科 24週以上 4週以上を1単位として2科以上 *1																								救急 *2 8週以上				3次救急 *3 (または集中治療) 4週以上				外科 4週以上				小児科 4週以上				産婦人科 4週以上				精神科 4週以上							

1年次・2年次																																																2年次			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 4週以上を1単位																																																地域医療 *4 4週以上 一般外来 4週			

○ 産婦人科プログラム・小児科プログラム

1年次・2年次																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
内科 24週以上 4週以上を1単位として2科以上 *1																								救急 *2 8週以上				3次救急 *3 (または集中治療) 4週以上				外科 4週以上				小児科 4週以上				産婦人科 4週以上				精神科 4週以上							

1年次・2年次																																																2年次			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
産婦人科(産婦人科プログラム)／小児科(小児科プログラム) 必修分野の研修期間以外																																																地域医療 *4 4週以上 一般外来 4週			

必修は内科・救急・3次救急・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療とし、地域医療以外は2年間のうちに所定の期間を研修します。

*1 内科研修では、各科において8週間以上の研修を推奨しています。

*2 救急の研修期間中は4週まで麻酔科研修の選択が可能です。

*3 全研修医は1年次または2年次に3次救急（または集中治療）で重症患者における急性期の循環および呼吸管理法を4週以上研修します。

*4 必修のうち地域医療は2年次に所定の期間を研修します。

臨床研修モデルケース

各研修コースのモデルプランをお示しします。AコースとBコースがいわゆる「たすきがけ」です。

札幌医科大学附属病院で研修中は、研修プログラムに定められている範囲であれば、希望する診療科を希望する時期に研修することが可能です。

1か月前までに臨床研修・医師キャリア支援センターへ申し出ていただければ、研修する診療科を何度でも変更できます。

Aコース 1年目大学病院 + 2年目市中病院 例：内科専門医から消化器内科を目指す場合

1年次 札幌医科大学附属病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 脳神経内科								必修(内科) 血液内科								必修(救急) 高度救命救急センター								必修(救急) 麻酔科				必修 神経精神科				必修(内科) 消化器内科								必修(外科) 消化器・総合、 乳腺・内分泌科				自由選択 呼吸器・アレルギー内科							

2年次 協力型臨床研修病院																																																			
専門研修プログラムへ応募																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 循環器内科								必修 小児科				必修 産婦人科				2年次必修 地域医療 一般外来				自由選択 決めた消化器内科																															

内科専門医の取得へ向けて、志望診療科以外の内科系診療科をローテートし、2年次後半は一足早く志望診療科の専門研修をスタートします。しかも大学病院と市中病院のたすきがけなら、1次から3次まですべての救急研修ができます。

Bコース 1年目市中病院 + 2年目大学病院 例：外科系専門医を目指す場合

1年次 協力型臨床研修病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 消化器内科								必修(内科) 循環器内科								必修(内科) 呼吸器内科								必修(救急) 救急								必修 精神科				必修 小児科				必修 産婦人科				必修 外科							

2年次 札幌医科大学附属病院																																																			
専門研修プログラムへ応募																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 心臓血管外科								自由選択 呼吸器外科								2年次必修 地域医療 一般外来				必修 高度救命救急センター				外科系サブスペシャルティ診療科																											

2年次にあらゆる診療科が揃っている大学病院で研修すれば、迷っている診療科をすべてローテーションしてから、進路を決められます。何度でもローテーションを変更できるのは大学病院ならではの。

Cコース 大学病院 + 市中病院での短期研修 例：眼科・病理・放射線科・リハビリで迷った場合

1年次 札幌医科大学附属病院																(研修協力施設)																札幌医科大学附属病院																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 循環器・腎臓・ 代謝内分泌内科								必修(内科) 呼吸器・アレルギー内科								必修(救急) ICU				必修(救急) 救急				必修 産婦人科				必修 小児科				必修(外科) 泌尿器科				自由選択 眼科				自由選択 病理部											

2年次 札幌医科大学附属病院																(協力型研修病院)																札幌医科大学附属病院																			
専門研修プログラムへ応募																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 放射線 治療科				自由選択 放射線 診断科				自由選択 リハビリテーション科								2年次必修 地域医療 一般外来				必修 神経精神科				必修(内科) 消化器内科				自由選択 決めた診療科																							

1年次から自由選択を選べるので、2年次に専門研修へ応募するまでにあらゆる志望診療科をローテーションできます。

協力型研修病院

協力型研修病院における研修内容は、札幌医科大学卒後臨床研修プログラムに基づき、それぞれの病院の研修計画により実施します。

Aコース・Bコースは協力型研修病院で1年間研修します。

Cコースは協力型研修病院・研修協力施設での短期研修が可能です。

道央

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
札幌市	市立札幌病院	701床	32科	●	-	-
札幌市	J R 札幌病院	312床	21科	●	B	-
札幌市	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	243床	25科	●	-	-
札幌市	NTT東日本札幌病院	301床	19科	●	-	-
札幌市	天使病院	260床	19科	●	●	●
札幌市	国立病院機構 北海道がんセンター	520床	26科	●	-	-
札幌市	JCHO 北海道病院	312床	19科	●	●	●
札幌市	KKR札幌医療センター	450床	37科	●	●	●
札幌市	国立病院機構 北海道医療センター	410床	28科	B	-	B
札幌市	札幌徳洲会病院	301床	28科	●	B	B
札幌市	JCHO 札幌北辰病院	276床	22科	●	-	-
札幌市	札幌禎心会病院	279床	19科	●	-	-
江別市	江別市立病院	278床	14科	A	-	-
千歳市	市立千歳市民病院	190床	13科	●	-	●
岩見沢市	岩見沢市立総合病院	365床	15科	●	●	●
砂川市	砂川市立病院	408床	23科	●	-	-
赤平市	あかびら市立病院	120床	12科	B	-	-
滝川市	滝川市立病院	270床	13科	●	-	●
小樽市	北海道社会事業協会 小樽病院	240床	12科	●	-	-
小樽市	北海道済生会小樽病院	258床	11科	●	-	-
小樽市	小樽市立病院	302床	21科	A	-	-
小樽市	小樽掖済会病院	138床	10科	●	-	-
室蘭市	日鋼記念病院	432床	26科	●	●	-
室蘭市	市立室蘭総合病院	401床	25科	●	-	-
室蘭市	製鉄記念室蘭病院	347床	22科	●	-	-
苫小牧市	苫小牧市立病院	378床	22科	●	-	-
苫小牧市	王子総合病院	440床	21科	●	A	A
伊達市	伊達赤十字病院	314床	17科	●	●	-
倶知安町	JA北海道厚生連 倶知安厚生病院	172床	16科	●	-	-

A…Aコースのみ、2年次の研修のみ受入可
B…Bコースのみ、1年次の研修のみ受入可

道南

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
函館市	函館五稜郭病院	499床	22科	●	●	●
函館市	市立函館病院	582床	30科	●	-	A
函館市	函館新都市病院	155床	10科	A	-	-
江差町	北海道立江差病院	146床	17科	A	-	-

道北

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
旭川市	J A北海道厚生連 旭川厚生病院	539床	26科	●	-	-
旭川市	旭川赤十字病院	514床	27科	●	-	-
旭川市	市立旭川病院	502床	24科	●	-	-
留萌市	留萌市立病院	300床	19科	●	-	●

オホーツク

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
北見市	北見赤十字病院	532床	17科	●	●	-
紋別市	広域紋別病院	148床	17科	-	-	A

十勝

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
帯広市	北海道社会事業協会 帯広病院	300床	14科	●	●	●
帯広市	J A北海道厚生連 帯広厚生病院	748床	21科	●	-	-
帯広市	北斗病院	267床	28科	A	-	-

釧路・根室

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
釧路市	市立釧路総合病院	535床	24科	●	●	●
釧路市	釧路赤十字病院	431床	19科	●	-	-
釧路市	釧路孝仁会記念病院	232床	13科	●	-	-
根室市	市立根室病院	131床	18科	A	-	-

研修協力施設

内科研修施設

札幌南一条病院（札幌市）（循環器・腎臓・代謝内分泌内科）
東札幌病院（札幌市）（腫瘍内科・血液内科）
松前町立松前病院（松前町）（総合診療科）
函館赤十字病院（函館市）（腫瘍内科・血液内科）

救急研修施設

手稲溪仁会病院（札幌市）
勤医協中央病院（札幌市）

外科研修施設

北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）
（消化器・総合・乳腺・内分泌外科）
広域紋別病院（紋別市）（消化器・総合・乳腺・内分泌外科）
北海道立北見病院（北見市）（心臓血管外科）
勤医協中央病院（札幌市）（消化器・総合・乳腺・内分泌外科）

産婦人科研修施設

札幌産科婦人科（札幌市）
札幌東豊病院（札幌市）
北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

小児科研修施設

北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

精神科研修施設

旭山病院（札幌市）
五稜会病院（札幌市）
ミネルバ病院（伊達市）
中江病院（札幌市）

整形外科研修施設

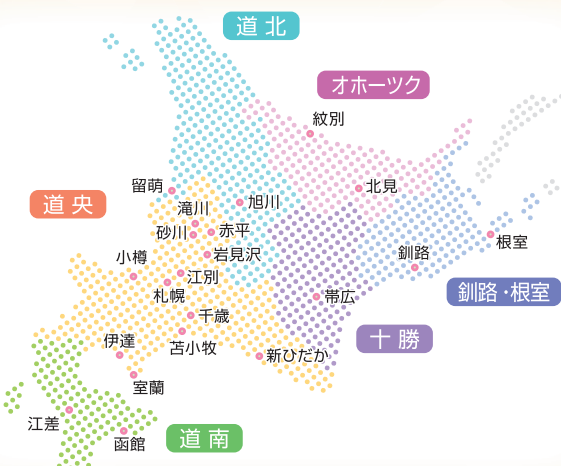
北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

脳神経外科研修施設

札幌白石記念病院（札幌市）
北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）
新さっぽろ脳神経外科病院（札幌市）

眼科研修施設

札幌東徳洲会病院（札幌市）



地域医療研修施設

24 施設での研修【必修】

▶ 一般外来および在宅診療の両方の研修を実施

道 央

静明館診療所（札幌市）
西岡病院（札幌市）
栄町ファミリークリニック（札幌市）
寿都町立寿都診療所（寿都町）
北海道済生会小樽病院（小樽市）
向陽台ファミリークリニック（千歳市）
若草ファミリークリニック（登別市）
むかわ町国民健康保険穂別診療所（むかわ町）
本輪西ファミリークリニック（室蘭市）
JA北海道厚生連俱知安厚生病院（俱知安町）
日高徳洲会病院（新ひだか町）

道 南

松前町立松前病院（松前町）
奥尻町国民健康保険病院（奥尻町）

道 北

くにもと病院（旭川市）
北星ファミリークリニック（旭川市）
国民健康保険上川医療センター（上川町）
北海道立羽幌病院（羽幌町）
枝幸町国民健康保険病院（枝幸町）
利尻島国保中央病院（利尻町）

道 東

市立根室病院（根室市）
町立別海病院（別海町）
更別村国民健康保険診療所（更別村）

道 外

那智勝浦町立温泉病院（和歌山県那智勝浦町）
高野町立高野山総合診療所（和歌山県高野町）

8 施設での研修【選択】

▶ 一般外来研修のみ実施

道 央

札幌南一条病院（札幌市）
札幌道都病院（札幌市）
JCHO 登別病院（登別市）
白老町立国民健康保険病院（白老町）

道 南

函館新都市病院（函館市）

道 北

留萌市立病院（留萌市）

道 東

町立厚岸病院（厚岸町）
町立中標津病院（中標津町）

福利・厚生／初期臨床研修医の処遇

福利・厚生



研修医室

研修医専用です。今年から机が新しくなりました。室内は無線 LAN があり、勉強やコミュニケーションの場として 24 時間使用できます。



ロッカールーム

研修医専用です。今年からロッカーが新しくなりました。男性用の仮眠ベッドはロッカールーム内に、女性用の仮眠ベッドは女性専用休憩室にあります。



総合情報センター(図書館)

図書館は年中 24 時間利用できます。文献検索はもちろん、Up To Date などの電子コンテンツも充実しています。



スキルスラボ

手技トレーニング用のシミュレーターが豊富にあり、研修医の皆さんは 24 時間利用できます。



保育所

大学敷地内に設置されているため、研修中の授乳等が可能です。急病の際は病状に応じて一時保育等の対応をしています。子育てしながら研修できる環境が整備されています。



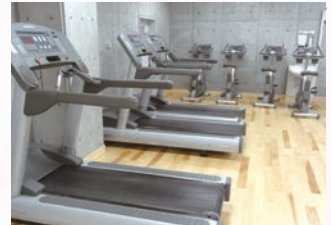
ファミリーマート

院内にはファミリーマートがあり、院内にはファミリーマートがあり、食事、飲み物、下着、文房具など生活に必要なものは全て揃います。札幌医大グッズも取りそろえています。



スターバックス

院内にはスターバックスコーヒーショップがあります。職員だけでなく、患者さんや面会にいらした方からも人気です。



トレーニングジム

大学体育館内には様々なトレーニングマシンが設置され、研修医の皆さんも自由に使用できます。

初期臨床研修医の処遇

①札幌医科大学附属病院の処遇

身分 | 非常勤(臨床研修医)

給与 | 給料：14,285 円 / 日
初期臨床研修手当(住居支援等)：1,000 円 / 日
通勤手当
(通勤距離が 2km 以上の場合、勤務日数に応じて支給)
期末手当

勤務時間 | 月～金曜日 8：45～17：30(時間外勤務は原則なし)

休暇 | (1) 年次有給休暇：全労働日の 8 割以上勤務した場合に付与。
2ヶ月間継続勤務 3 日、6 か月間継続勤務 7 日(通算 10 日)、
18 か月間継続勤務 11 日
(2) 夏季休暇：3 日、忌引休暇：有
年未年始：有、その他休暇：有

当直 | 4 回程度 / 月、手当：1.6 万円 / 回

研修医施設 | 研修医のための宿舎：無
研修医室：個人デスクスペース有、無線 LAN 利用可
仮眠ベッド：有(男女別)、保育所：有

社会保険・労働保険 | ・公的医療保険：健康保険
・公的年金保険：厚生年金保険
・労働者災害補償保険法の適用：有
・雇用保険：有

健康管理 | 健康診断：年 1 回

医師賠償責任保険 | 病院において加入
個人加入：推奨

外部研修活動 | 学会、研究会等への参加：可

②協力型研修病院の処遇

各病院で定める研修医の処遇によります。

研修医からのメッセージ

大学病院を選んだ理由

大学病院と市中病院のたすきがけ研修の利点および大学病院での研修の特徴。

- たすきがけ研修により1年目は市中病院でCommonな症例を、2年目は大学病院で専門性の高い症例を学ぶことができます。なんでも教えてもらいやすいのが大学病院の特徴です。

私は1年目は市中病院での研修を、2年目はこの札幌医大病院での研修を選び、1年間をここで過ごしました。

Commonな症例があつまる市中病院では幅広い症例を学ぶことができ、それに対して大学病院では専門性の高い症例を学習することができました。私は東京生まれ東京育ちであり、この札幌は縁もゆかりもない場所でしたが、そんな中で多くの同期ができ、ともに支えあい研鑽を積むことができたのが素晴らしいことであったと思います。

また、上級医も年齢が近い先生が多く、気軽に質問でき手技などのコツも手取り足取り教えてもらいやすいのも、大学病院の特徴であると思います。各診療科のエキスパートに直接教えるを乞うことができる環境というのは、臨床研修期間中までに限られます。その時間を有意義に使うべく、大学病院での研修を検討してみてください。

きっと皆さんの生涯の助けとなることでしょう。



東邦大学 卒業
五十嵐 良太

偏らず視野の広がる研修

大学病院と市中病院の両方でバランスよく研修できます。

- 大学病院と市中病院、両方で研修できる強みがあり、症例経験数も十分です。大学での研修は、将来自分の専門を決める際に参考にもなり、満足度の高い研修ローテーションを組めます。

私は1年目を市中病院、2年目を大学病院で研修しました。1年目の市中病院では大学ではあまり診ない common disease を中心に研修を行いました。市中病院では研修医に任される業務が多く、色々な科の手技や病態の理解、全科当直など多くの経験を積むことができました。2年目の大学病院では、自分の研修の理解度に合わせて自由にローテーションを組むことが可能なため、私は志望科を軸に興味のある科を選択しました。私の場合は麻酔科志望だったので、麻酔科の他に救急科やICUを重点的に研修するローテーションを組みました。もし自分の志望科で迷っていたり決まっていない場合でも、大学では研修中にその科の実際の雰囲気がわかり、将来の方向性についても直接聞くことができるので、研修以外の面でも有意義な時間を過ごせます。

たすきがけは大学病院と市中病院の両方バランス良く研修できるコースなので、充実した研修生活を送れます。



金沢医科大学 卒業
川崎 侑希

札幌医大病院での臨床研修

大学病院での多彩な症例から医師としての基礎、考え方を学ぶ。

- 大学病院ということで、まれな症例が多いイメージかもしれませんが、頻度の高い症例を診ることができ、市中病院での研修を積むこともできるバランスの良い研修です。

地域枠ということもあり、早めに大学の教室の雰囲気を知りたいと考えて1年目に札幌医大病院、2年目に市中病院で研修を行いました。

1年目の大学病院での研修では内科6カ月、救急3カ月、選択必修3カ月という枠組みの中での選択でしたが、その中でもローテーションの自由度は高く個人のニーズに合わせた研修が可能です。きめ細かい指導を受けることができるので、個々の症例に対してじっくり考えることができたり、様々な手技を経験することもできます。多彩な症例が集まるため専門医取得のための症例経験にもなります。

また、日々の診療だけではなくカンファレンスでのプレゼンテーションや学会発表など様々な経験を積むことができます。研修医室には電子カルテ、文献検索も可能なパソコンもあり、しっかり勉強することも可能です。

今春より設備も新しくなるので、より研修しやすい環境になると思います。



札幌医科大学 卒業
杉本 貴子

専門研修・後期研修について

研修内容

各領域または診療科のプログラムに基づき、診療に従事しながら研修を行います。

応募資格

医師免許を持ち、初期臨床研修を修了した方。

身分等

専門研修・後期研修のいずれでも診療医としての身分保障、給与、健康保険等があります。また、一般病院での診療支援も可能です。

応募

専門研修は、専門医機構の応募スケジュールに従って、専攻医を募集する予定です。後期研修は随時受け付けています。

詳しくは、当センターホームページをご覧ください。

▶ <http://web.sapmed.ac.jp/byoin/center/index.html>

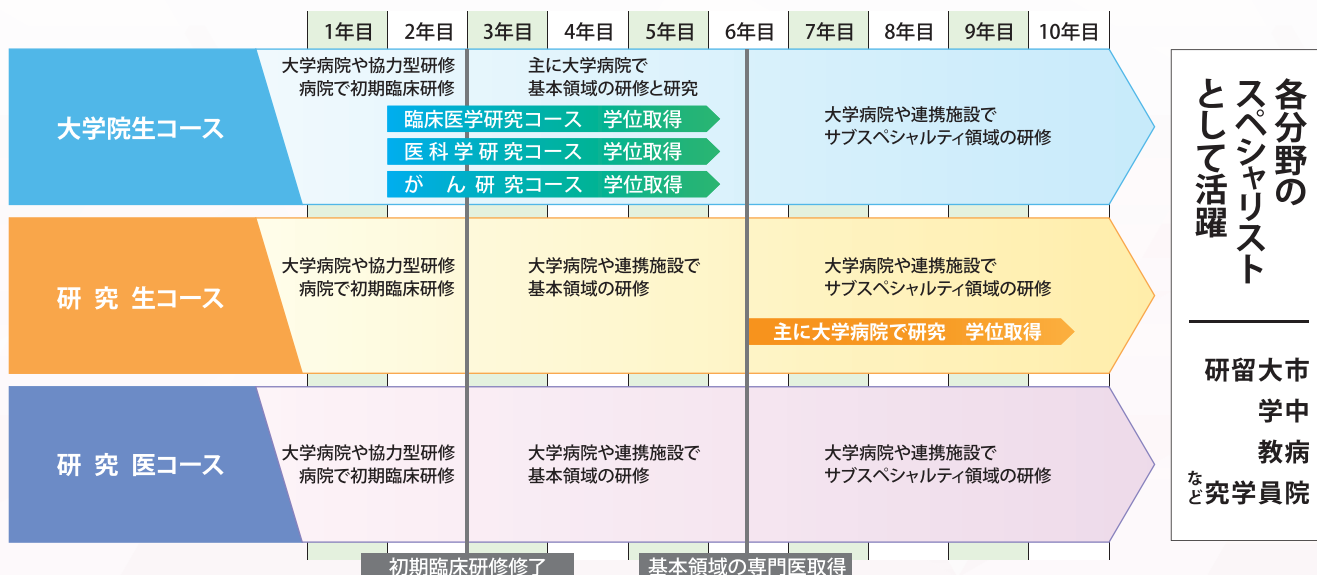


札幌医科大学附属病院で取得できる認定医・専門医資格

基本領域専門医	サブスペシャルティ領域専門医	サブスペシャルティ領域専門医	学会認定医・専門医
内科専門医	消化器内科専門医	小児外科専門医	スポーツ医
小児科専門医	循環器内科専門医	乳腺外科専門医	周産期専門医
皮膚科専門医	呼吸器内科専門医	内分泌外科専門医	婦人科腫瘍専門医
精神科専門医	血液内科専門医	放射線診断専門医	生殖医療専門医
外科専門医	内分泌代謝内科専門医	放射線治療専門医	性機能専門医
整形外科専門医	糖尿病内科専門医	学会認定医・専門医	頭頸部がん専門医
産婦人科専門医	脳神経内科専門医	心血管インターベンション認定医	インターベンショナルラジオロジー専門医
眼科専門医	腎臓内科専門医	超音波専門医	核医学専門医
耳鼻科専門医	膠原病・リウマチ内科専門医	透析専門医	細胞診専門医
泌尿器科専門医	アレルギー専門医	気管支鏡専門医	集中治療専門医
脳神経外科専門医	感染症専門医	小児神経専門医	熱傷専門医
放射線科専門医	老年科専門医	小児血液専門医	家庭医療専門医
麻酔科専門医	腫瘍内科専門医	老年精神専門医	Infection Control Doctor
病理専門医	肝臓内科専門医	肝胆膵外科高度技能専門医	がん専門医
救急科専門医	消化器内視鏡専門医	内視鏡外科技術認定医	
形成外科専門医	消化器外科専門医	大腸肛門病専門医	
リハビリテーション科専門医	呼吸器外科専門医	手外科専門医	
総合診療専門医	心臓血管外科専門医	脊椎脊髄外科専門医	



- 札幌医科大学附属病院では、初期臨床研修修了後に引き続き専門研修や後期研修を行うことで、専門医や学位(博士号)のスムーズな取得が可能です。
- 専門研修は、専門研修プログラムの専攻医となって、専門とする領域の研修を行います。
- 後期研修は、大学院生コース、研究生コース、研究医コースの3つのコースがあります。



※ 内科系と外科系診療科では、基本領域の専門医(内科専門医、外科専門医)を取得した上で、さらにサブスペシャリティ領域の専門医(消化器病専門医、循環器専門医、など)の取得を目指すことが一般的です。

大学院生コース

札幌医科大学大学院医学研究科では、生命倫理から再生医療まで幅広い分野の専門家を揃えて指導にあたっています。大学院は、幅広い基礎知識を涵養しながら研究を行い、科学的・客観的・論理的考え方を身につけることを目的としています。大学院は、研究の素晴らしさを体験し、地域にそして世界に飛躍する第一歩となることでしょう。

大学院博士課程には医学部在学中に入学する MD-PhD コースと医学部卒業後(卒後の年数は問わない)に入学する臨床医学研究コース、医科学研究コースがあります。博士課程修了には、4年間の在学(特に優れた研究業績がある場合には3年間)、授業科目30単位以上の修得、学位論文の提出とその審査に合格することが要件となっています。臨床医学研究コースは初期臨床研修2年次に入学し、臨床研修を主体としつつ、平日17:30以降に大学院の講義・研究指導を受けたり、e-ラーニングで受講することも可能です。この場合は、臨床研修を札幌医大病院あるいは大学院医学研究科長が委嘱した臨床教授、臨床准教授、臨床講師が在職する研修病院で行う必要があります。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。▶ <http://web.sapmed.ac.jp/index.html>



研究生コース

札幌医科大学の臨床医学講座では、臨床と並行して優れた研究活動を行っています。研究生コースでは、研究の一端を担うことにより、大学院に入学しなくても、所定の語学試験に合格し、専門研修・後期研修中に各講座で研究を担い、一定の研究期間(研究歴)を経て、研究論文が学位審査に合格することにより、学位(博士号)を取得できます。臨床と並行しながら研究を行うことで学位を取得できますが、一般的にその期間は大学院生コースよりも長くなります。一方で各領域の専門医取得には遅滞がありません。

研究医コース

専門医は、一人前の臨床医として診療するための必須要件となりつつあります。研究医コースでは、専門医の取得を目指して臨床に特化した研修を行うことができます。専門医取得には一定の研究業績(学会・論文・セミナー受講)等が求められますが、札幌医大病院はさまざまな専門研修プログラムの基幹施設であるだけでなく、臨床と並行してこれらの研究活動を行うことができるので専門医取得に非常に有利です。学位(博士号)は取得できませんが、途中でコースを変更して学位取得を目指すことも可能です。

臨床研修に関する Q&A

Q. 他大学出身ですが、札幌医科大学出身者と扱いが異なるのではないかと不安です。

A. ご安心ください。そういったことは全くありません。当パンフレットには他大学出身の研修医からのメッセージも掲載しておりますのでご参照ください。

Q. 願書に希望研修コース記入欄がありますが、これで決定してしまうのでしょうか？

A. 願書では決定しません。マッチング決定後11月頃に行う希望調査により決定します。

Q. 「たすきがけ」病院（協力型研修病院）はどのように決まりますか？

A. マッチング決定後11月頃に行う希望調査により決定します。「たすきがけ」病院の受入枠を超える希望があった場合は、マッチング登録順位の上位者から順に「たすきがけ」病院を決定していきます。第1希望での確定率は85～90%となっており、皆さんが希望する病院で研修できます。

Q. ローテーションはどのように決まりますか？決定後は変更できないのでしょうか？

A. 12月に翌年の希望調査を行い、各病院で診療科と調整のうえ決定します。なお、学内の診療科に限り、ローテーションの変更が可能です。変更希望診療科の研修開始1か月前までに臨床研修・医師キャリア支援センターへ申し出てください。



Q. 大学病院は3次救急しか対応していませんが、1次・2次救急の研修はできますか？

A. Aコース・Bコースではたすきがけで1年間研修する協力型研修病院において、Cコースでは救急研修施設において、1次・2次救急の研修ができます。さらに当院で3次救急研修を行うことで、1次～3次救急まであらゆる救急を研修できます。

Q. 大学病院は研修医が多いので、症例の取り合いとなって手技を経験できないのでは？

A. 大学病院では各診療科・部門に分散して研修します。1つの診療科・部門に研修医が集中することはまれで、手技も豊富に経験できます。

Q. アルバイトは可能でしょうか？

A. 医師法で「臨床研修を受ける医師は、臨床研修に専念し」と規定されており、臨床研修中のアルバイトは禁止されています。

2021年度 臨床研修医募集要項

募集プログラム・定員 (変更になる場合があります)	札幌医科大学附属病院卒後臨床研修標準プログラム 35名 札幌医科大学附属病院卒後臨床研修産婦人科プログラム 2名 札幌医科大学附属病院卒後臨床研修小児科プログラム 2名
研修期間	2021年4月1日から2023年3月31日までの2年間
研修コースと協力型 病院の選択	それぞれのプログラムの中で、どの研修コースを選ぶか、どの協力型病院を選ぶかは医師臨床研修マッチング決定後に、本人の希望に基づき決定されます。
応募資格	第115回医師国家試験の受験予定者、医師臨床研修マッチングに参加する者。2004年度から2019年度の医師国家試験合格者でマッチングに参加しなかった者、および、いずれの病院においても医師臨床研修を開始しなかった者。
出願方法	下記の応募書類を提出してください。 (1) 札幌医科大学附属病院臨床研修医願書 (試験等の時間や場所を連絡するために、メールアドレスは必ず記入してください。) (2) 卒業(見込)証明書 (3) 成績証明書 ※(2)・(3)について札幌医科大学医学部卒業(見込)の方は提出不要
出願期間	①2020年6月1日(月)から7月31日(金)まで※必着 ②2020年6月1日(月)から8月7日(金)まで※必着
出願書類提出先	下記の提出先に郵送または持参により提出してください。 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学附属病院 病院課 臨床研修係 ※郵送の場合は、封筒の表面に「研修医願書在中」と記入してください。
選考方法	面接等により研修管理評価委員会が評価を行い、採用希望順位を病院長が決定します。

選考日	①2020年8月14日(金) ②2020年8月21日(金)
選考方法	面接試験
試験会場	札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学 (具体的な時間と場所はメールにて個別に連絡します)

病院見学について

札幌医科大学附属病院では、医学生の方の見学・実習を歓迎します。
ご希望に沿えるように日程を調整しますので、お気軽にお問い合わせください。

見学期間	半日から数日間まで、ご希望に応じます。平日のみです。
対象	医学生(何年生でも歓迎します)
申し込み	以下を記入して、下記のメールアドレスまで送ってください。 ①お名前(フリガナ) ②性別 ③所属大学(学年) ④出身地 ⑤見学希望診療科 ⑥見学希望日時 ⑦連絡先(電話番号) ⑧メールアドレス ⑨その他(希望・質問等)
メールアドレス	kenshu@sapmed.ac.jp
各診療科の案内	https://web.sapmed.ac.jp/hospital/section/index.html ※日程の調整に時間を要することがありますので、余裕をもってご連絡ください。 ※パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、できるだけパソコンのメールアドレスからご連絡ください。





アクセスマップ



アクセス [交通機関]

《地下鉄》 最寄り駅：「西18丁目」

◎経路：札幌駅・大通駅から

- ・南北線「さっぽろ」駅（J R札幌駅直結）から「大通」駅（2分）
- ・「大通」駅で東西線「宮の沢」行に乗り換え「西18丁目」駅（4分）下車
- ・「西18丁目」駅6番出口より徒歩3分から5分。

《市電》 最寄り駅：「西15丁目」

◎経路：西4丁目電停から

- ・「西4丁目」駅から「西15丁目」駅（8分）下車
- ・「西15丁目」駅より徒歩2分。

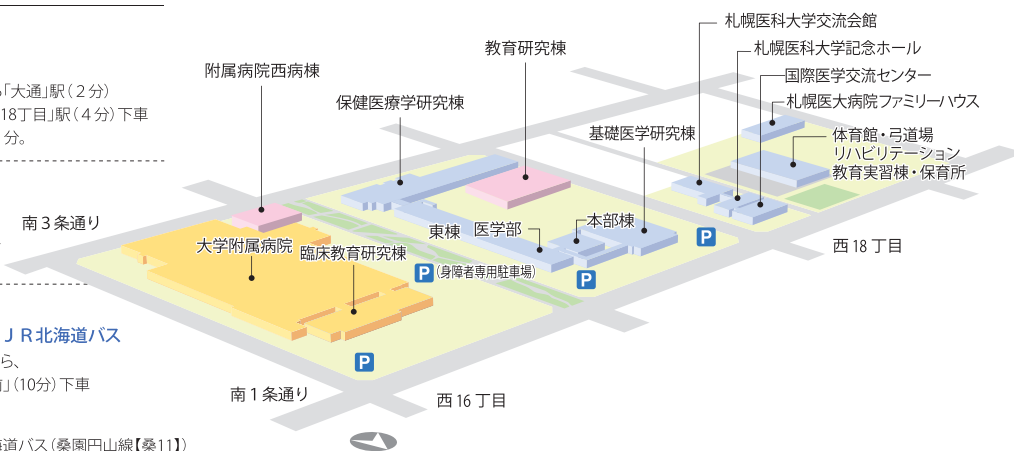
《バス》 最寄りバス停：「医大病院前」

◎経路：札幌駅前（バスターミナル）から、J R北海道バス

- ・J R札幌駅「バスターミナル7番のりば」から、
- J R北海道バス（啓明線【51】）「医大病院前」（10分）下車

◎経路：桑園駅から、J R北海道バス

- ・J R桑園駅（駅前ロータリー）からJ R北海道バス（桑園円山線【桑11】）
- 「医大病院前」（6分）下車



北海道公立大学法人 **札幌医科大学附属病院 臨床研修・医師キャリア支援センター**
 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 TEL 011-688-9486（直通） FAX 011-621-8059

詳細はホームページで <http://web.sapmed.ac.jp/byoin/center/index.html>

お問い合わせ・資料請求は メールアドレス **E-mail:kenshu@sapmed.ac.jp**

